

教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

評価の観点

- ・国語に対する関心をもち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。
- ・相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする。
- ・経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。
- ・書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。
- ・音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。
- ・書写では、文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。

評価の方法

〔学習態度 発表 音読 プリント ノート テスト 作品〕

学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	のはらのシーソー・詩 教えてあげる、たからものたんぼぼ 雨の日のおさんぼ ニャ ゴ 【書写】文字の中心 「おもちゃまつりへようこそ」	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子や人物の気持ちを想像しながら、はっきりした発音・発声で音読する。 ・自分の宝物について、その特徴を整理してスピーチや文章で紹介する。 ・説明されていることをまともや順序に気をつけて読み取り、読み取ったことをもとに表現活動を行う。 ・場面の様子を想像しながら読み、人物の気持ちをとらえる。 ・登場人物の様子や気持ちを想像し、作品のおもしろさを味わうとともに、読んだ本を手紙やはがきで紹介する。 ・文字の中心に気をつけながら書く。 ・おもちゃの作り方や遊び方についてまとめ、順序に気をつけて分かりやすく説明する。
後期	名前を見てちょうだい ビーバーの大工事 わたしの見学ノート せいかいのかくれんぼ かさこじぞう 「きせつの思い出ブック」を作る 【書写】画のつき方・画の交わり方・画の間かく	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の言動を中心に、出来事の順序に注意して様子や気持ちを想像しながら読む。 ・調べたことをもとにクイズを作り、交流し合う。 ・順序を考えながら文と文の付き方に気をつけて書く。 ・遊び方の順序に気をつけて読み取り、話し合いの仕方を学ぶ。 ・場面の様子や人物の気持ち、人柄を想像しながら読むとともに、いろいろな昔話を読み、読書会を開いて紹介する。 ・2年生で学習した色々な書き方を生かして季節の思い出を文章に書く。 ・画の接し方や交わり方を理解し、正しく書く。 ・文字の間隔を考えながら書く。